

## 大分県立大分商業高等学校において「金融経済教育公開授業」を開催しました

10月16日(水)に大分県立大分商業高等学校において「金融経済教育公開授業」(主催：大分県立大分商業高等学校、大分県金融広報委員会、J-FLEC、後援：大分県教育委員会)を開催しました。

大分県立大分商業高等学校は、令和5年度から2年間、当委員会より金融経済教育研究校の指定を受け、研究・実践に取り組まれてきました。

2年生のキャリア探究Ⅱ(総合的な探究の時間)の中で3つのテーマ(下記表のとおり)に分かれて、授業を実施し、県内の教職員の方々にご参加いただきました。

### ▼3つの授業テーマ▼

1・2組	「将来に備える資産形成について」
3・4組	「お金を借りる信用とは？」
5・6組	「詐欺から身を守る金融トラブル回避のコツ」

1・2組では、グループごとに分かれて投資体験ゲーム形式でお金を手に入れた時の使い方を考える授業を行いました。ゲームを通じて、将来の資産形成を考えるうえでは「投資」という選択肢があることを知り、また、「投資」を行う際にはリスクが伴うこと、経済情報や、世の中の動きを理解することを学んでいました。



3・4組では、成人年齢の引き下げにより、18歳になってからできるようになった「契約」に焦点を当て、グループごとにお金の貸し借り体験を行い、お金を借りるには何が大切なのかを学ぶ授業を行いました。貸す側、借りる側のカードを用いてゲームが行われ、借りる側の人にはカードに書かれた特徴をもとにどんなものを買うか、貸す側の人にはどの人にならお金を貸すかを意見交換していました。

貸し借り体験を通じて、お金の貸し借りには、「信用」が必要であること、また、信用を得るために必要な行動についても学んでいました。

5・6組では、「二次元コード詐欺」や、「受け子」、「キャッシュカードのすり替え」の動画を視聴して、詐欺の実態を知り、トラブルを回避するために必要なことを考える授業を行いました。

動画を見て、今起きている詐欺の種類や、年間の詐欺被害額から、詐欺が身近にあることを学び、金融トラブルから自分や、家族を守るためのヒントを考えていきました。個人で考える時間やグループワークを通じて、①「一次情報(ソース)を検索する」、②「感情と論理を切り分ける」、③「コミュニケーション」という3つのヒントを見出し、詐欺から身を守る術を主体的に学んでいました。

いずれのクラスでも、生徒たちが疑問に思ったことや理解したことについて積極的に発言する姿や、グループで楽しみながら金融経済について学ぼうとしている様子がとても印象的でした。



公開授業後には、大分県立大分商業高等学校の森山 貴仁校長、当委員会の伊井秀明事務局長の挨拶後、授業検討会を行いました。

授業実施者と、聴講者との間で質問や意見交換などが交わされ、とても有意義な検討会となりました。

最後に、大分県教育委員会高校教育課の指導主事より、公開授業の指導助言が行われ、これからの金融経済教育において大切なこととお話いただき、充実した公開授業を開催することができました。

大分県金融広報委員会では、引き続き関係先と協力・連携し、金融経済教育への支援を行っていきます。

以 上